

# 「混住化農村調査」第1次報告書(1)

野 邊 政 雄

## 目 次

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 本稿の目的 | 6. 単純集計表 |
| 2. 調査地   | (以上本号)   |
| 3. 地域集団  | 7. 主要な知見 |
| 4. 調査方法  | (以上次号)   |
| 5. 調査票   |          |

### 1. 本稿の目的

一般的に言えば、戦後の自作農体制のもとで、日本の集落（ムラ）は同質の構成員（農民）から成り、完結した閉鎖的な地域であった。（勿論、農業地域それぞれの歴史的事情や地理的状况などによって、集落はその同質性や閉鎖性の度合で差異があった。）そこでは、個々の農家が単独で農道や農業用水路といった農業生産のための基本的環境を整備し、維持することはできない。道普請や溝さらえといった村民の共同作業によって、それは行われた。その上、この農業生産のための共同作業から、村民が生活面においても協力を行うことは当然のことであった。つまり、冠婚葬祭において相互扶助を行い、家屋の建築・修理において協力をしあった。生産や生活での協力から、村民は連帯感や一体感を醸成すると共に、集落内における社会関係の積み重ねを作り上げていった。

こうした原型としての集落はその後変動しているが、1970年以降の変動を特徴づける1つの概念が「混住化」である。集落へ来住者が流入したり、あるいは農民が在村のままで転職をした。そして、住民構成が多様化した。また交通手段（例えば、自動車）や通信手段（例えば、電話）の発達のおかげで、住民の交際範囲が拡大した。こうして、同質的で閉鎖的であった集落は、異質的で開放的な地域となってきた。

混住化はその住民の生活に大きな影響をもたらす。これについて3点を挙げておく。第一に、住民の利害関係が複雑になるので、合意を形成することが難しくなっている。以前の同質的で閉鎖的な集落では、村民の大部分が農民で、彼らの利害が農業生産ということで一致していたから、共同作業を行うことができたわけである。ところが、混住化した集落では、住民構成が多様化することに伴って、集落における利害関係が複雑になり、住民の合意形成が極めて困難となる。例えば、非農民層にとって、農道や農業用水路を管理・維持することは自らの生活に役立たないから、道普請や溝さらえに出なくなる。そこで、共同作業によって生活環境を維持・整備することができなくなる。第二に、混住化した集落では地元層と来住者層との生活慣習における相違や相互理解の不足から、軋轢が発生しやすい。例えば、農家の人は週末に朝早くから機械を使って農作業をするが、朝遅くまで寝たいと思っている非農家の住民にとっては、それは迷惑である。第三に、来住者層は、居住地域に対して、しばしば無関心である。彼らは人格形成において重要な青少年期を他の地域で過ごしたので、青少年期を共に過ごした幼なじみが近隣に居ることはほとん

どない。つまり、来住者層は様々な地域出身者の寄せ集まりであるといえる。このため、彼らは近隣との連帯感を欠いていると共に、地域社会での出来事に無関心で、地域社会の活動に参加する意欲をあまり持っていない。結局、錯綜した利害関係、地元層と来住者層の生活慣習の違い、来住者層の短期の居住期間などから、集落の一体性や連帯性が崩壊する。また、旧来からの伝統的な社会関係は堀崩されてしまい、住民が集落の中で社会関係を取り結ぶことが以前ほど容易でなくなっている。

そこで、混住化した集落では、コミュニティ形成が大きな課題となる。つまり、集落の一体性や連帯性を回復することが目指されると共に、住民の「市民」的な社会関係の結合が模索される。だが、そうした住民意識や社会関係の成立はどのような契機をもって可能かについて、十分に解明されたとは言い難い。

さて、筆者は平成3年度に岡山大学教育学部で「社会調査」の授業を開講した。この一環として、倉敷市の混住化地域においてアンケート調査を実施した。(本稿では、以後この調査を「混住化地域調査」と呼称する。)その調査票は、住民意識と社会的ネットワーク(人々の取り結ぶ社会関係)の2点を究明することを目指して、作成された。そして、この調査によって、コミュニティ形成の契機を探究しようとした。本稿は、「混住化地域調査」の概要、単純集計表、及びこの検討からの知見の提示である。

## 2. 調 査 地

岡山市近郊において、混住化地域の特徴を持つ地域を探したが、適当と思われる地域はあまりなかった。これには、2つの理由が考えられる。第一に、岡山市の周辺部にある広大な農村地帯は、市街化区域と市街化調整区域に区分されている。そして、岡山市の周辺部の多くは市街化調整区域に指定されている。この指定を受けている区域を住宅地として開発するとき、市役所の許可が必要である。通例、公団ないし業者が既存の集落から懸け離れたこの種の土地を団地として整備し、住宅地として一般の人々に売却する。このため、市街化調整区域では、来住者層は、地元層の居住地から地理的に隔絶した地域に住むことが多い。第二に、市街化地域では、住宅地としての小規模な土地売買が自由にできるので、地元層の住宅と混在して来住者層の住宅が建設されてゆくことが多い。しかし、そこでは、住宅地としての土地の売買がしやすいので、比較的短期間に住宅地化し、農業が衰退してしまう。

いくつかの地域を検討した結果、倉敷市上東という集落(大字)を調査地とした。これには、次の3つの理由がある。第一に、上東の大部分は市街化区域内であり、地元層と来住者層が割合に混交して居住している。第二に、上東は山陽本線の庭瀬駅と中庄駅のほぼ中間に位置し、比較的の交通の便が悪いので、混住化が緩慢に進行した。だから、住宅地化が10年以上も前に始まったにも拘わらず、混住化地域の特徴を依然持っている。第三に、新旧住民が参加する地域活動が庄学区(上東のある小学校区)では行われている。1974年に、庄学区地域活動促進協議会が結成された。これには、部落会、団地町内会、子供会、交通安全母の会、老人クラブ、庄小学校PTA、庄中学校PTAといった庄学区内の地域集団の代表者が推進委員として参加し、地域の問題を協議している。更に、庄学区地域活動促進協議会は、秋の庄学区の運動会、空き缶拾い、レクリエーション活動(マラソン大会やウォークラリー)を実施している。そして、地元層と来住者層が一緒になってこうした地域活動に参加している。

上東は倉敷市の東北部にあり、岡山市と境を接している。上東をはじめとする9つの村が庄学区(小学校区)を構成している。庄学区は、もともと都窪郡庄村という行政村であったが、昭和46年に倉敷市に編入された。上東には、倉敷市立の庄幼稚園、庄小学校、庄

中学校があり、庄学区内の児童や生徒が通っている。また、倉敷市役所庄支所が上東に置かれている。

次に、その地域の産業に目を向けると、上東は、昔から米や蕎麦を中心とした農業地帯であった。韓国や中国などの安価な蕎麦が輸入されるようになると共に、重労働である蕎麦の栽培作業に人を雇用できにくくなったため、昭和50年頃にその栽培は衰退してしまった。現在、大部分の農家は、機械化による兼業の米作りを行っている。

それから、人口の増加を検討する。平成元年9月現在、上東の世帯数は958世帯、人口は3,235人である。上東の大部分は市街化区域であるが、上東以外の庄学区のかかなりの部分は市街化調整区域である。住宅開発のしやすさから、上東では団地の造成が昭和45年頃から始まった。そこで、これ以降、人口増加が現在まで続いている。数値で示せば、昭和47年には世帯数は255世帯、人口は975人にすぎなかった。昭和50年には世帯数は521世帯、人口は1,852人となり、昭和60年には世帯数881世帯、人口2,997人となった。このように、人口が徐々にかつ間断なく増加している（倉敷市 1972-1985）。

最後に、農家の割合を吟味する。上東は、岡山市や倉敷市の中心部に至近であるので、農家の兼業化が以前より進行していた。昭和50年には第二種兼業農家は81%を占めており、昭和60年には90%であった。ところで、団地の開発が進展しても、農家数は現在まであまり減少していない。昭和50年の総農家数は120世帯であり、昭和60年におけるこの値は106世帯であるというように、10年間に14世帯の減少にすぎなかった。農業機械の普及のおかげで、週末に農業を効率的に行い、平日に勤めに出ることができるからである。

南北に走る県道大内田・高松線が上東を東西に2分している。上東の東部に地元住民の集落がある。その集落に点在する空き地を購入し、来住者が上東の東部に居住している。そこでは、新旧住民の家屋が入り交じっている。小規模な団地が1つそこに建設されている。これと対照的に、上東の西部は、元来、耕地であった。小規模な団地は、そこに順次造成されていった。そして、多くの来住者は、上東の西部に居住している。上東にはアパートもあるが、大部分は一戸建て住宅である。

### 3. 地域集団

地元層は、「組合」という昔からの地域集団を維持している。約30世帯が1つの組合を構成する。そして、上東には8つの組合が組織されている。行政連絡の伝達（「広報倉敷」の配布など）、ゴミステーション管理、清掃、農道の修繕作業（道普請）、寄付への協力などといった活動は、組合を単位として行われている。

「部落会」は、上東にある8つの組合の代表者の会合である。それぞれの組合は、1名ないし2名の地区委員を選出する。そして、上東には都合12名の地区委員がいる。彼らは部落会を組織し、各組合の代表として、地域の問題を話し合ったり、すべての地元層に関わる事柄を決定する。例えば、農道の修繕作業を上東で一斉に行う日を決める。各組合では、分担する農道部分の修繕作業をその日に行う。

部落会では、地区委員の中から、1名の土木委員を選出する。土木委員は、2つの役割を担っている。第一に、土木委員は部落会の全体を纏める代表者、つまり、地元層の長である。彼は地元層の利害の対立を調整したり、地元層の意見を集約し、市役所に陳情・要望を行ったりする。第二に、土木委員は非常勤の市役所の特別職職員であり、市役所の農業に関連する業務を助けたり、意見を具申できる。例えば、市役所の職員が公有地と私有地を確定する際に立ち会ったり、市役所が行う農道や農業用水路の改修について優先順位を市役所に言うことができる。

次に、来住者層の地域集団を検討する。上東の西部では、団地ごとに町内会が結成され

ている。平成3年8月現在、10の町内会がある。また、上東の東部の団地にも、町内会が組織されている。そこで、都合11の団地町内会がある。これらの町内会は、一般に、行政連絡の伝達、ゴミステーション管理、清掃、街灯管理といった活動をしている。これらの団地町内会が連絡を取り合ったり、意見の調整を行う連合町内会は組織されていない。

地域集団の代表は町内会であるが、これ以外の地域集団も上東にある。体育協会、子供会、老人クラブ、交通安全母の会などが上東で組織されている。

さて、地元層には組合が、来住者層には町内会が、別個にあることは前述した。この他の地域集団は上東の東部と西部ごとにあり、実質的には地元層と来住者層によって別々に組織されている。その上、上東では、部落会の代表者と団地町内会の代表者が会合することもない。つまり、上東の地元層と来住者層の代表が連絡を取り合ったり、地域の問題について話し合ったりはしていない。このように地域集団の結成の仕方を見ると、地元層と来住者層は、連携することなく、相互に独立してそうした組織を結成し、活動しているといえる。

庄学区の住民の代表者が話し合う場としては、庄学区地域活動促進協議会がある。前述のように、これには庄学区内の地域集団の代表者が推進委員として参加し、地域の問題を協議している。また、この組織は清掃やレクリエーション活動を実施している。上東の地元層からは、土木委員だけが出る。上東の来住者層からは、11の団地町内会会長すべてが、それに出席する。倉敷市役所は、庄学区地域活動促進協議会に年間約50万円の補助金を支給し、そのコミュニティ活動を支援している。

#### 4. 調査方法

調査員の人数や調査予算が制約されているから、調査対象者をあらゆる住民にまで広げるのではなく、研究する意義が深い特定の属性を持つ住民に絞った。そして、調査対象者を60歳未満の既婚女性とした。

まず、女性に調査対象を限定したのは、次の理由からである。混住化地域の来住者層が、近隣との連帯感を欠いていると共に、地域社会での出来事に無関心で、地域社会の活動に参加する意欲をあまり持っていないということは既に指摘した。混住化地域調査を始める前に、いくつかの混住化地域で聞き取り調査を行った。これによると、そうした来住者層の地域社会に対する無関心は、妻よりも夫により見られるという<sup>(1)</sup>。企業における長い労働時間のために、夫は長時間職場に拘束されているからである。聞き取り調査から、夫が近隣関係をあまり持っていないことが予想されたので、調査対象者を女性とした。

次に、未婚及び60歳以上の女性を調査対象者から除外したのは、次の理由からである。混住化地域調査に先立つ聞き取りによれば、未婚者の来住者は住居を地域社会から隔絶し、自らのプライバシーを守ろうとするということであった。つまり、彼らは地域社会と係わる意欲や契機を欠いている。そこで、新旧住民間の交流の担い手である可能性が低い未婚者を除外した。さて、60歳以上の高齢者が団地居住者の中で占める割合は低い。そこで、大多数を占める生産年齢の住民を調査対象にした方が、調査結果の持つ意義が大きいと思われる<sup>(2)</sup>。この点を考慮して、60歳未満の女性を調査対象者とした。

上東の選挙人名簿から、60歳未満の既婚女性を1世帯より1名抜き出した。選挙人名簿には既婚・未婚の記載がないので、同居している男性の年齢からそれを推定した。2名以上の該当する女性が1世帯にいる場合には、無作為にそのうちの1名を選んだ。上東の周辺にあり、他の集落に地理的に近接する家屋が若干あったが、ここに居住する女性は調査対象者から除外した。以上の方法で612名を列举した調査台帳を作成した。そして、台帳に記載された人を悉皆調査（すべての人を調査）した。

調査は面接法によって実施した。平成3年7月1日に調査依頼の葉書を台帳に記載された人に出した。7月6日から7月20日までの間に、学生調査員が該当する女性を訪問し、面接によって調査を行った。調査対象者を3回訪問しても、不在等で調査ができない場合、それ以上の訪問を行わなかった。面接調査が不完全である調査票があったが、平成3年10月までに、電話、手紙、再訪問によって不明な点を質した。有効票数は341であり、無効票数は271であった。無効票の内訳は、転居ないし該当者発見できず28、不在144、病氣入院1、拒否92、非該当（未婚ないし未亡人）6であった。

不在や拒否が多かった理由について、次のようなことが考えられる。上東は岡山市や倉敷市の中心部に近い。また、庄学区内に川崎医科大学や清心女子高等学校があり、その学生を対象にした種々の施設が次々に出来つつある。その上、庄学区を東西に横切る県道岡山倉敷線沿いに、各種飲食店、ゲームセンター等がある。このように、勤務先が上東の近くにはたくさんあるので、就労する婦人が近年急激に増えつつある。そこで、不在や拒否が多かったと推測される。

## 5. 調 査 票

地元層と来住者層を調査票でどのように定義するかは、一考を要した。これに関して、2つの問題点があった。第一に、地元層を狭義に定義すれば、「地域が混住化する以前からある世帯に生まれ、長い期間そこに居住している人」となろう。旧集落の男性世帯主の大部分はこの定義に該当するから、世帯主を対象にする調査では、この定義は妥当性が高い。ところが、女性を調査対象にする場合には、この定義は不適当に思われた。というのは、女性は結婚して、生家を出ることが多いから、狭義の地元層に該当する既婚女性は極めて少数になってしまうからである。第二に、混住化地域には、混住化する以前からある世帯に婚入した女性が多くいる。こうした女性を地元層あるいは来住者層いずれに分類すべきかという問題に直面した。

この2点を考慮して、混住化地域調査では地元層を広義に定義する必要性を感じた。「昭和40年以前から、上東地区にある家、ないしそうした家から分家をされた家を地付きの家とこの調査で呼ばさせていただきます。お宅は地付きの家ですか。」という質問をした（問19）。そして、この質問に該当する人を、本稿では「地付き住民」ないし「地付き層」と呼ぶ。つまり、地付き住民とは、「混住化する以前からある家で出生し、現在もそこに居住する人、あるいはそうした家と親族関係にある人」である。

本稿では、狭義と広義の地元層を区別し、使い分けたい。狭義の地元層に言及するとき、「地元層」という用語を、広義の地元層について述べる時、「地付き層」という用語を以後用いる。

## 6. 単純集計表

以下、設問に従って単純集計表を提示してゆくが、選択肢ごとに表示された数字は、それぞれを選択した人数である。地付き層の列にある括弧内の数字は、地付き層の全回答者114を母数としたパーセンテージである。同様に、来住者層の列にある括弧内の数字は227を、全回答者の列にある括弧内の数字は341を母数としたパーセンテージである。問2のような選択質問についてのパーセンテージに、注意が必要である。問1で「倉敷市庄学区内で生まれた」と答えた回答者のみが、問2に回答している。問2の各選択肢に示されたパーセンテージは、問1で「倉敷市庄学区内で生まれた」と答えた人数を母数とした割合でなく、先述のそれぞれの人数を母数としたパーセンテージである。ところで、問11のような複数回答が認められた質問では、選択肢のパーセンテージの合計が100にならないことは

言うまでもない。

設問の結果を提示した後に、その結果の意味を略説した。

**問 1** あなたがお生まれになったのはどこですか。

|                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 倉敷市庄学区内で生まれた | 24 ( 21.1%)  | 15 ( 6.6%)   | 39 ( 11.4%)  |
| (2) 国内その他の場所     | 89 ( 78.1%)  | 211 ( 93.0%) | 300 ( 88.0%) |
| (3) 外国           | 1 ( 0.9%)    | 1 ( 0.4%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

全回答者の約10%が倉敷市庄学区で生まれたにすぎない。

〔2〕 国内その他の場所の地方別内訳〕

|          | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 北海道      | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| 東北地方     | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| 関東地方     | 0 ( 0 %)   | 6 ( 2.6%)   | 6 ( 2.0%)   |
| 中部地方     | 2 ( 1.8%)  | 5 ( 2.2%)   | 7 ( 2.3%)   |
| 兵庫県      | 3 ( 2.6%)  | 11 ( 4.8%)  | 14 ( 4.1%)  |
| その他の近畿地方 | 2 ( 1.8%)  | 6 ( 2.6%)   | 8 ( 2.7%)   |
| 岡山県      | 75 (65.8%) | 125 (55.1%) | 200 (58.7%) |
| 広島県      | 3 ( 2.6%)  | 15 ( 6.6%)  | 18 ( 5.3%)  |
| その他の中国地方 | 1 ( 0.9%)  | 13 ( 5.7%)  | 14 ( 4.1%)  |
| 四国地方     | 1 ( 0.9%)  | 14 ( 6.2%)  | 15 ( 5.0%)  |
| 九州地方     | 2 ( 1.8%)  | 14 ( 6.2%)  | 16 ( 5.3%)  |
| 合計       | 89 (78.1%) | 211 (93.0%) | 300 (88.0%) |

88%の回答者は庄学区以外の国内で生まれたが、その出生地の地方別内訳を示している。そうした出生地の過半数は岡山県である。

〔2〕 国内その他の場所の人口規模別内訳〕

|                 | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|-----------------|------------|-------------|-------------|
| 村               | 3 ( 2.6%)  | 1 ( 0.4%)   | 4 ( 1.2%)   |
| 町               | 22 (19.3%) | 61 (26.9%)  | 83 (24.3%)  |
| 5万人未満の市         | 13 (11.4%) | 15 ( 6.6%)  | 28 ( 8.2%)  |
| 5万人以上10万人未満の市   | 6 ( 5.3%)  | 29 (12.8%)  | 35 (10.3%)  |
| 10万人以上20万人未満の市  | 3 ( 2.6%)  | 12 ( 5.3%)  | 15 ( 4.4%)  |
| 20万人以上50万人未満の市  | 17 (14.9%) | 43 (18.9%)  | 60 (17.6%)  |
| 50万人以上100万人未満の市 | 24 (21.1%) | 34 (15.0%)  | 58 (17.0%)  |
| 100万人以上の市       | 1 ( 0.9%)  | 16 ( 7.0%)  | 17 ( 5.0%)  |
| 合計              | 89 (78.1%) | 211 (93.0%) | 300 (88.0%) |

庄学区以外の国内で生まれた回答者の出生地を、人口規模別に分類した。そうした回答者の半数以上は、町村か人口20万人未満の小市（岡山市や倉敷市よりも人口の少ない市）で出生した。

**問2** (倉敷市庄学区内生まれの人に) それではずっと倉敷市庄学区内に住んでおられるのですか。

|                                    | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 生まれてずっと倉敷市庄学区内に住んでいる           | 16 ( 14.0%)  | 6 ( 2.6%)    | 22 ( 6.5%)   |
| (2) 倉敷市庄学区内で生まれたが、10年以内の他<br>出経験あり | 7 ( 6.1%)    | 4 ( 1.8%)    | 11 ( 3.2%)   |
| (3) 倉敷市庄学区内で生まれたが、10年以上の他<br>出経験あり | 1 ( 0.9%)    | 5 ( 2.2%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (4) 非該当 (倉敷市庄学区以外で生まれた)            | 90 ( 78.9%)  | 212 ( 93.4%) | 302 ( 88.6%) |
| 合計                                 | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

倉敷市庄学区生まれの回答者のうち、約半数は他の場所に住んだことがある。

**問3-1** あなたは庄学区に合計して何年間お住まいですか。(7カ月以上12カ月未満は1年に切り上げる)

庄学区での平均居住年数 (単位 年)

| 地付き層          | 来住者層          | 全回答者          |
|---------------|---------------|---------------|
| 21.73 (14.40) | 12.15 ( 9.28) | 15.35 (12.11) |

回答者は、庄学区に平均15.4年住んでいる。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

**問3-2** では、あなたは現住所に合計して何年間お住まいですか。(7カ月以上12カ月未満は1年に切り上げる)

現住所での平均居住年数 (単位 年)

| 地付き層          | 来住者層         | 全回答者          |
|---------------|--------------|---------------|
| 18.91 (14.40) | 9.14 ( 5.91) | 12.41 (10.65) |

回答者は、現住所に平均12.4年住んでいる。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

**問4** あなたは10歳から20歳までの10年間はどこで一番長く過ごしましたか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 倉敷市庄学区内    | 28 ( 24.6%)  | 16 ( 7.0%)   | 44 ( 12.9%)  |
| (2) その他の場所     | 86 ( 75.4%)  | 210 ( 92.5%) | 296 ( 86.8%) |
| (3) わからない、答えなし | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

全回答者の13%が、倉敷市庄学区内で10代を過ごしたにすぎない。

[(2) その他の場所の地方別内訳]

|          | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 東北地方     | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| 関東地方     | 0 ( 0 %)   | 7 ( 3.1%)   | 7 ( 2.1%)   |
| 中部地方     | 1 ( 0.9%)  | 4 ( 1.8%)   | 5 ( 1.5%)   |
| 兵庫県      | 2 ( 1.8%)  | 11 ( 4.8%)  | 13 ( 3.8%)  |
| その他の近畿地方 | 3 ( 2.6%)  | 5 ( 2.2%)   | 8 ( 2.3%)   |
| 岡山県      | 73 (64.0%) | 139 (61.2%) | 212 (62.2%) |
| 広島県      | 3 ( 2.6%)  | 12 ( 5.3%)  | 15 ( 4.4%)  |

|          |            |             |             |
|----------|------------|-------------|-------------|
| その他の中国地方 | 2 ( 1.8%)  | 12 ( 5.3%)  | 14 ( 4.1%)  |
| 四国地方     | 1 ( 0.9%)  | 12 ( 5.3%)  | 13 ( 3.8%)  |
| 九州地方     | 1 ( 0.9%)  | 7 ( 3.1%)   | 8 ( 2.3%)   |
| 合計       | 86 (75.4%) | 210 (92.5%) | 296 (86.8%) |

87%の回答者は庄学区以外で10代を過ごしたが、その場所の地方別内訳を示している。その場所の大多数は岡山県であった。

〔2〕 その他の場所の人口規模別内訳〕

|                 | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|-----------------|------------|-------------|-------------|
| 村               | 4 ( 3.5%)  | 2 ( 0.9%)   | 6 ( 1.8%)   |
| 町               | 23 (20.2%) | 56 (24.7%)  | 79 (23.2%)  |
| 5万人未満の市         | 16 (14.0%) | 27 (11.9%)  | 43 (12.6%)  |
| 5万人以上10万人未満の市   | 4 ( 3.5%)  | 17 ( 7.5%)  | 21 ( 6.2%)  |
| 10万人以上20万人未満の市  | 9 ( 7.9%)  | 23 (10.1%)  | 32 ( 9.4%)  |
| 20万人以上50万人未満の市  | 24 (21.1%) | 64 (28.2%)  | 88 (25.8%)  |
| 50万人以上100万人未満の市 | 4 ( 3.5%)  | 12 ( 5.3%)  | 16 ( 4.7%)  |
| 100万人以上の市       | 2 ( 1.8%)  | 8 ( 3.5%)   | 10 ( 2.9%)  |
| わからない、答えなし      | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| 合計              | 86 (75.4%) | 210 (92.5%) | 296 (86.8%) |

87%の回答者は庄学区以外で10代を過ごしたが、その場所を人口規模別に分類した。そうした回答者の約60%は、町村か人口20万人未満の小市で10代を過ごした。

**問 5** あなたが育ったご家庭では、あなたが10代の頃、農業をされておられましたか。

|                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 専業で農業をしていた   | 44 ( 38.6%)  | 38 ( 16.7%)  | 82 ( 24.0%)  |
| (2) 兼業で農業をしていた   | 30 ( 26.3%)  | 54 ( 23.8%)  | 84 ( 24.6%)  |
| (3) 農業以外の仕事をしていた | 39 ( 34.2%)  | 135 ( 59.5%) | 174 ( 51.0%) |
| (4) わからない、答えなし   | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.3%)    |
| 合計               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約半数の回答者が育った家庭は、専業ないし兼業の農家であった。

**問 6** あなたは現住所に来る前はどこに住んでおられましたか。

|                         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) はじめからここに（現住所）に住んでいる | 16 ( 14.0%)  | 0 ( 0 %)     | 16 ( 4.7%)   |
| (2) 倉敷市庄学区内の別の場所に住んでいた  | 16 ( 14.0%)  | 29 ( 12.8%)  | 45 ( 13.2%)  |
| (3) 国内のその他の場所           | 82 ( 71.9%)  | 196 ( 86.3%) | 278 ( 81.5%) |
| (4) 外国                  | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.9%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計                      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

回答者の5%は、誕生してから現在まで現住所にずっと居住し続けている。13%は、倉敷市庄学区内の別の場所から現住所に引越した。残りの約80%は、庄学区以外の場所から現住所に移り住んだ。

〔3〕 国内その他の場所の地方別内訳〕

|      | 地付き層     | 来住者層      | 全回答者      |
|------|----------|-----------|-----------|
| 関東地方 | 0 ( 0 %) | 5 ( 2.2%) | 5 ( 1.5%) |

「混住化農村調査」第1次報告書(1)

|          |            |             |             |
|----------|------------|-------------|-------------|
| 中部地方     | 2 ( 1.8%)  | 3 ( 1.3%)   | 5 ( 1.5%)   |
| 大阪府      | 1 ( 0.9%)  | 13 ( 5.7%)  | 14 ( 4.1%)  |
| その他の近畿地方 | 5 ( 4.4%)  | 4 ( 1.8%)   | 9 ( 2.6%)   |
| 岡山県      | 73 (64.0%) | 155 (68.3%) | 228 (66.9%) |
| その他の中国地方 | 0 ( 0 %)   | 8 ( 3.5%)   | 8 ( 2.3%)   |
| 四国地方     | 1 ( 0.9%)  | 6 ( 2.6%)   | 7 ( 2.1%)   |
| 九州地方     | 0 ( 0 %)   | 2 ( 0.9%)   | 2 ( 0.6%)   |
| 合計       | 82 (71.9%) | 196 (86.3%) | 278 (81.5%) |

約80%の回答者は、国内の庄学区以外の場所から現住所に移り住んだが、その前住地の地方別内訳を示している。大多数は岡山県内から現住所に移転した。

〔3〕 国内その他の場所の人口規模別内訳〕

|                 | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|-----------------|------------|-------------|-------------|
| 村               | 3 ( 2.6%)  | 0 ( 0 %)    | 3 ( 0.9%)   |
| 町               | 12 (10.5%) | 18 ( 7.9%)  | 30 ( 8.8%)  |
| 5万人未満の市         | 5 ( 4.4%)  | 4 ( 1.8%)   | 9 ( 2.6%)   |
| 5万人以上10万人未満の市   | 3 ( 2.6%)  | 12 ( 5.3%)  | 15 ( 4.4%)  |
| 10万人以上20万人未満の市  | 0 ( 0 %)   | 5 ( 2.2%)   | 5 ( 1.5%)   |
| 20万人以上50万人未満の市  | 19 (16.7%) | 85 (37.4%)  | 104 (30.5%) |
| 50万人以上100万人未満の市 | 36 (31.6%) | 62 (27.3%)  | 98 (28.7%)  |
| 100万人以上の市       | 4 ( 3.5%)  | 10 ( 4.4%)  | 14 ( 4.1%)  |
| 合計              | 82 (71.9%) | 196 (86.3%) | 278 (81.5%) |

国内の庄学区以外の場所から現住所に移転した回答者について、その前住地を人口規模別に分類した。そうした回答者の約75%は人口20万人以上の市から現住所に移転した。これには、岡山市や倉敷市の庄学区以外の場所からの移転も含まれる。

**問7** あなたは生まれてからこれまでに住所を何度ぐらい変わりましたか。

|               | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 変わったことがない | 16 ( 14.0%)  | 0 ( 0 %)     | 16 ( 4.7%)   |
| (2) 変わったことがある | 98 ( 86.0%)  | 227 (100.0%) | 325 ( 95.3%) |
| 合計            | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

95%の回答者は、これまでに居住地を変えたことがある。

〔2〕 移転したことがある回答者の平均移転回数〕(単位 回)

| 地付き層        | 来住者層        | 全回答者        |
|-------------|-------------|-------------|
| 3.02 (1.93) | 4.26 (2.20) | 3.89 (2.20) |

来住者層の1人は移転回数が分からないと答えているので、324人の回答者の平均移転回数である。居住地を変えたことがある回答者の平均移転回数は3.9回である。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

**問8** この調査では、自治会、町内会、部落会、組合などといった地域の住民自治組織を町内会と統一して呼ばさせていただきます。お宅は町内会に加入していらっしゃいますか。

|             | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 加入している  | 106 ( 93.0%) | 200 ( 88.1%) | 306 ( 89.7%) |
| (2) 加入していない | 8 ( 7.0%)    | 27 ( 11.9%)  | 35 ( 10.3%)  |

合計 114 (100.0%) 227 (100.0%) 341 (100.0%)  
 90%の回答者は町内会に加入している。

**問9** (町内会に加入している人に) 現在、町内会の役員をされていますか。

|                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 役員をしている           | 11 ( 9.6%)   | 25 ( 11.0%)  | 36 ( 10.6%)  |
| (2) 役員をしていない          | 95 ( 83.3%)  | 175 ( 77.1%) | 270 ( 79.2%) |
| (3) 非該当 (町内会に加入していない) | 8 ( 7.0%)    | 27 ( 11.9%)  | 35 ( 10.3%)  |
| 合計                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約10%の回答者は、町内会の役員をしている。

**問10** (町内会に加入している人に) あなたの町内会は次のどれに役立っていると思いますか。最も当てはまるものを1つだけお答えください。

|                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 町内の親睦とまとまりのため     | 44 ( 38.6%)  | 60 ( 26.4%)  | 104 ( 30.5%) |
| (2) 防犯・保健・衛生等の日常生活のため | 10 ( 8.8%)   | 35 ( 15.4%)  | 45 ( 13.2%)  |
| (3) 県・市からの連絡、通知等のため   | 46 ( 40.4%)  | 90 ( 39.6%)  | 136 ( 39.9%) |
| (4) 町内の意志や要求を市に伝えるため  | 1 ( 0.9%)    | 4 ( 1.8%)    | 5 ( 1.5%)    |
| (5) その他               | 2 ( 1.8%)    | 4 ( 1.8%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (6) 役に立っていない          | 2 ( 1.8%)    | 6 ( 2.6%)    | 8 ( 2.3%)    |
| (7) わからない、答えなし        | 1 ( 0.9%)    | 1 ( 0.4%)    | 2 ( 0.6%)    |
| (8) 非該当 (町内会に加入していない) | 8 ( 7.0%)    | 27 ( 11.9%)  | 35 ( 10.3%)  |
| 合計                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

40%の回答者は町内会の意義を「県・市からの連絡・通知」に、30%はそれを「町内の親睦とまとまり」に認めている。

**問11** (町内会に加入している人に) あなたの町内会について率直なご感想をおきかせ下さい。いくつ上げられても結構です。

|                                         | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|-----------------------------------------|------------|-------------|-------------|
| (1) まあまあよくやっている                         | 65 (57.0%) | 114 (50.2%) | 179 (52.5%) |
| (2) 親睦的な活動は盛んだが、防犯・保健・衛生等日常生活に結び付いた面が弱い | 15 (13.2%) | 19 ( 8.4%)  | 34 (10.0%)  |
| (3) もっとお互いの親睦に力をいれて欲しい                  | 15 (13.2%) | 37 (16.3%)  | 52 (15.2%)  |
| (4) もっと民主的な運営をして欲しい                     | 8 ( 7.0%)  | 8 ( 3.5%)   | 16 ( 4.7%)  |
| (5) 市の下請け機関になってしまっている                   | 12 (10.5%) | 11 ( 4.8%)  | 23 ( 6.7%)  |
| (6) もっと住民が自主的に運営して欲しい                   | 6 ( 5.3%)  | 25 (11.0%)  | 31 ( 9.1%)  |
| (7) 市議員選挙のときなど政治的に利用されすぎ                | 19 (16.7%) | 13 ( 5.7%)  | 32 ( 9.4%)  |
| る                                       |            |             |             |
| (8) 住民の要求を行政に伝えて欲しい                     | 11 ( 9.6%) | 19 ( 8.4%)  | 30 ( 8.8%)  |
| (9) あまり活動していない                          | 14 (12.3%) | 44 (19.4%)  | 58 (17.0%)  |
| (10) 町内会はもともと必要がない                      | 0 ( 0 %)   | 4 ( 1.8%)   | 4 ( 1.2%)   |
| (11) その他                                | 3 ( 2.6%)  | 3 ( 1.3%)   | 6 ( 1.8%)   |

約50%の回答者が町内会は「まあまあよくやっている」と考えている反面、17%が「あまり活動していない」という感想を抱いている。15%は「もっとお互いの親睦に力をいれて欲しい」という意見を持つ。これ

ら以外の様々な感想も挙げられたけれども、少数の回答者によってである。

問12

お宅では、ご近所から害虫の駆除やドブの清掃など、労力奉仕のような形で協力を求められた場合、あなたのお考えに一番近いものを1つ選んで下さい。

|                         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) すすんで協力する            | 52 ( 45.6%)  | 92 ( 40.5%)  | 144 ( 42.2%) |
| (2) 求められれば、協力する         | 58 ( 50.9%)  | 126 ( 55.5%) | 184 ( 54.0%) |
| (3) そのつど、お金を払って免除してもらう  | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.3%)    |
| (4) 町内会費で人を雇う           | 1 ( 0.9%)    | 3 ( 1.3%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (5) 市役所にやらせるよう皆で話し合う    | 1 ( 0.9%)    | 3 ( 1.3%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (6) 本来、市役所がやるべきだから、拒否する | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (7) わからない、答えなし          | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計                      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

96%の回答者は、協力を求められた場合、「すすんで協力する」ないし「求められれば、協力する」と答えている。

問13

庄学区内にある町内会、P.T.A.、老人クラブなどがまとまって、庄学区地域活動促進協議会(庄地協)を組織しています。町内会や庄学区地域活動促進協議会(庄地協)でしていることで、あなたが過去1年以内に参加したのはどんなことですか。次のうちからあげて下さい。いくつ上げられても結構です。

|                      | 地付き層       | 来住者層        | 全回答者        |
|----------------------|------------|-------------|-------------|
| (1) 消防援助             | 1 ( 0.9%)  | 1 ( 0.4%)   | 2 ( 0.6%)   |
| (2) 夜警               | 1 ( 0.9%)  | 1 ( 0.4%)   | 2 ( 0.6%)   |
| (3) 空缶拾い             | 76 (66.7%) | 170 (74.9%) | 246 (72.1%) |
| (4) 空缶・空瓶回収          | 44 (38.6%) | 94 (41.4%)  | 138 (40.5%) |
| (5) 清掃               | 47 (41.2%) | 108 (47.6%) | 155 (45.5%) |
| (6) 消毒               | 10 ( 8.8%) | 43 (18.9%)  | 53 (15.5%)  |
| (7) 草花を道路に植える        | 7 ( 6.1%)  | 8 ( 3.5%)   | 15 ( 4.4%)  |
| (8) 道路の維持・修繕作業       | 11 ( 9.6%) | 8 ( 3.5%)   | 19 ( 5.6%)  |
| (9) 募金の協力            | 54 (47.4%) | 132 (58.1%) | 186 (54.5%) |
| (10) 成人式・敬老会         | 2 ( 1.8%)  | 2 ( 0.9%)   | 4 ( 1.2%)   |
| (11) 運動・レクリエーション・旅行  | 37 (32.5%) | 84 (37.0%)  | 121 (35.5%) |
| (12) 盆踊り・祭り          | 41 (36.0%) | 75 (33.0%)  | 116 (34.0%) |
| (13) 慶弔の世話           | 41 (36.0%) | 59 (26.0%)  | 100 (29.3%) |
| (14) 総会に出席           | 20 (17.5%) | 56 (24.7%)  | 76 (22.3%)  |
| (15) その他の活動          | 0 ( 0 %)   | 6 ( 2.6%)   | 6 ( 1.8%)   |
| (16) いずれの活動にも参加しなかった | 17 (14.9%) | 20 ( 8.8%)  | 37 (10.9%)  |

庄学区地域活動促進協議会や町内会が実施している活動のうち、最も多くの回答者が参加しているのは「空缶拾い」である(72%)。40~55%の回答者が参加した活動は「空缶・空瓶回収」、「清掃」、「募金の協力」であり、30~35%が参加した活動は「運動・レクリエーション・旅行」と「盆踊り・祭り」である。

問14

現在、あなたが加入している組織や団体をすべてあげて下さい。いくつ上げられても結構です。

|              | 地付き層      | 来住者層      | 全回答者      |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| (1) 防犯協会・消防団 | 1 ( 0.9%) | 1 ( 0.4%) | 2 ( 0.6%) |

|                            |            |             |             |
|----------------------------|------------|-------------|-------------|
| (2) 婦人会                    | 5 ( 4.4%)  | 10 ( 4.4%)  | 15 ( 4.4%)  |
| (3) 小鳩会 (幼稚園入園前の子供を持つ母親の会) | 9 ( 7.9%)  | 5 ( 2.2%)   | 14 ( 4.1%)  |
| (4) 子供会 (父兄として)            | 27 (23.7%) | 69 (30.4%)  | 96 (28.2%)  |
| (5) P.T.A.                 | 40 (35.1%) | 86 (37.9%)  | 126 (37.0%) |
| (6) 老人会                    | 4 ( 3.5%)  | 1 ( 0.4%)   | 5 ( 1.5%)   |
| (7) 商店会                    | 3 ( 2.6%)  | 2 ( 0.9%)   | 5 ( 1.5%)   |
| (8) 同業の組合または団体             | 13 (11.4%) | 2 ( 1.3%)   | 16 ( 4.7%)  |
| (9) 農協                     | 27 (23.7%) | 13 ( 5.7%)  | 40 (11.7%)  |
| (10) 生協 (生活協同組合)           | 44 (38.6%) | 114 (50.2%) | 158 (46.3%) |
| (11) 政党・政治団体               | 0 ( 0 %)   | 3 ( 1.3%)   | 3 ( 0.9%)   |
| (12) 労働組合                  | 7 ( 6.1%)  | 5 ( 2.2%)   | 12 ( 3.5%)  |
| (13) 宗教団体                  | 4 ( 3.5%)  | 10 ( 4.4%)  | 14 ( 4.1%)  |
| (14) 遺族会                   | 2 ( 1.8%)  | 2 ( 0.9%)   | 4 ( 1.2%)   |
| (15) 学術研究団体                | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| (16) 県人会・同郷団体              | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| (17) 趣味の会・スポーツ団体           | 23 (20.2%) | 55 (24.2%)  | 78 (22.9%)  |
| (18) ロータリークラブ・ライオンズクラブ     | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.4%)   | 1 ( 0.3%)   |
| (19) 講・無尽                  | 4 ( 3.5%)  | 1 ( 0.4%)   | 5 ( 1.5%)   |
| (20) 住民運動の団体               | 4 ( 3.5%)  | 9 ( 4.0%)   | 13 ( 3.8%)  |
| (21) その他の組織・団体             | 3 ( 2.6%)  | 6 ( 2.6%)   | 9 ( 2.6%)   |
| (22) 加入していない               | 20 (17.5%) | 49 (21.6%)  | 69 (20.2%)  |

46%の回答者が生協に加入している。これに次いで、37%が「P.T.A.」に加入している。20～29%の回答者は「子供会」と「趣味の会・スポーツ団体」に加入している。一方、20%の回答者は、町内会以外の組織や団体には全く加入していない。

## 問15

あなたが加入している組織や団体のうちで役員をしているものを残らずあげて下さい。  
いくつ上げられても結構です。

|                            | 地付き層      | 来住者層       | 全回答者       |
|----------------------------|-----------|------------|------------|
| (1) 防犯協会・消防団               | 0 ( 0 %)  | 1 ( 0.4%)  | 1 ( 0.3%)  |
| (2) 婦人会                    | 1 ( 0.9%) | 1 ( 0.4%)  | 2 ( 0.6%)  |
| (3) 小鳩会 (幼稚園入園前の子供を持つ母親の会) | 2 ( 1.8%) | 0 ( 0 %)   | 2 ( 0.6%)  |
| (4) 子供会 (父兄として)            | 5 ( 4.4%) | 13 ( 5.7%) | 18 ( 5.3%) |
| (5) P.T.A.                 | 8 ( 7.0%) | 24 (10.6%) | 32 ( 9.4%) |
| (6) 老人会                    | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (7) 商店会                    | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (8) 同業の組合または団体             | 1 ( 0.9%) | 1 ( 0.4%)  | 2 ( 0.6%)  |
| (9) 農協                     | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (10) 生協 (生活協同組合)           | 5 ( 4.4%) | 16 ( 7.0%) | 21 ( 6.2%) |
| (11) 政党・政治団体               | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (12) 労働組合                  | 1 ( 0.9%) | 0 ( 0 %)   | 1 ( 0.3%)  |
| (13) 宗教団体                  | 2 ( 1.8%) | 1 ( 0.4%)  | 3 ( 0.9%)  |
| (14) 遺族会                   | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (15) 学術研究団体                | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (16) 県人会・同郷団体              | 0 ( 0 %)  | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)   |
| (17) 趣味の会・スポーツ団体           | 4 ( 3.5%) | 9 ( 4.0%)  | 13 ( 3.8%) |

|                        |            |             |             |
|------------------------|------------|-------------|-------------|
| (18) ロータリークラブ・ライオンズクラブ | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)    | 0 ( 0 %)    |
| (19) 講・無尽              | 0 ( 0 %)   | 0 ( 0 %)    | 0 ( 0 %)    |
| (20) 住民運動の団体           | 0 ( 0 %)   | 3 ( 1.3%)   | 3 ( 0.9%)   |
| (21) 問14であげたその他の組織・団体  | 1 ( 0.9%)  | 4 ( 1.8%)   | 5 ( 1.5%)   |
| (22) いずれの役員もしていない      | 95 (83.3%) | 175 (77.1%) | 270 (79.2%) |

組織や団体で役員をしている回答者は少ない。しいて挙げれば、9%の回答者がP.T.A.の役員をしている。

### 問16

一般的にいつて「近所付き合い」の仕方には、いろいろな程度ものがありますが、あなたは、次のうちのどれが望ましいものとお考えですか。1つだけ選んで下さい。

|                                 | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 心をうちわって、ざっくばらんに話したり相談したりする  | 16 ( 14.0%)  | 24 ( 10.6%)  | 40 ( 11.7%)  |
| (2) お互いの生活を大切に節度をもってつきあう        | 90 ( 78.9%)  | 183 ( 80.6%) | 273 ( 80.1%) |
| (3) ほどほどに調子を合わせるようにする           | 7 ( 6.1%)    | 14 ( 6.2%)   | 21 ( 6.2%)   |
| (4) 必要最小限のことに限ってつき合う (あいさつだけなど) | 1 ( 0.9%)    | 6 ( 2.6%)    | 7 ( 2.1%)    |
| (5) 近所付き合いはできるだけしない             | 0 ( 0 %)     | 0 ( 0 %)     | 0 ( 0 %)     |
| 合計                              | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

望ましい近所付き合いの仕方として、80%の回答者は「お互いの生活を大切に節度をもってつきあう」を挙げた。

### 問17

では、あなたはこの町内で、実際にどの程度の近所付き合いをされていますか。

|                                 | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 心をうちわって、ざっくばらんに話したり相談したりする  | 13 ( 11.4%)  | 25 ( 11.0%)  | 38 ( 11.1%)  |
| (2) お互いの生活を大切に節度をもってつきあう        | 70 ( 61.4%)  | 144 ( 63.4%) | 214 ( 62.8%) |
| (3) ほどほどに調子を合わせるようにする           | 19 ( 16.7%)  | 28 ( 12.3%)  | 47 ( 13.8%)  |
| (4) 必要最小限のことに限ってつき合う (あいさつだけなど) | 6 ( 5.3%)    | 25 ( 11.0%)  | 31 ( 9.1%)   |
| (5) 近所付き合いはほとんどない               | 6 ( 5.3%)    | 3 ( 1.3%)    | 9 ( 2.6%)    |
| (6) その他                         | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.9%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計                              | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

現実の近所付き合いは、望ましい近所付き合いの仕方をかなり反映している。しかし、問16の回答の分布と厳密に比較すると、「お互いの生活を大切に節度をもってつきあう」の割合が少なく、「ほどほどに調子を合わせるようにする」と「必要最小限のことに限ってつき合う (あいさつだけなど)」の割合が多い。

### 問18

隣近所や地域の人々との生活はどうあるべきか、あなたの考えに近いものを1つ選んで下さい。

|                                          | 地付き層        | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------------------------------|-------------|--------------|--------------|
| (1) この土地のしきたりや習慣に従い、できるだけお互いの和を大切にしていきたい | 71 ( 62.3%) | 124 ( 54.6%) | 195 ( 57.2%) |

|                                                                |              |              |              |
|----------------------------------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (2) この土地の環境や生活を良くするため、市や国に要求を出していくが、わずらわしい隣近所との深い付き合いはなるべく避けたい | 7 ( 6.1%)    | 17 ( 7.5%)   | 24 ( 7.0%)   |
| (3) この土地の環境や生活を良くするのは自分たちの責任でもあるから、住民の立場で積極的に協力していきたい          | 32 ( 28.1%)  | 69 ( 30.4%)  | 101 ( 29.6%) |
| (4) この土地を良くしていくことはあまり関心はなく、できるだけ自分の生活の方を大切にしたい                 | 3 ( 2.6%)    | 15 ( 6.6%)   | 18 ( 5.3%)   |
| (5) わからない、答えなし                                                 | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| 合計                                                             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

選択肢(1)の「地域共同体」の住民意識を抱く回答者が、約60%に昇る。

問19

昭和40年以前から、上東地区にある家、ないしそうした家から分家をされた家を地付きの家とこの調査で呼ばさせていただきます。お宅は地付きの家ですか。

|              |   |   |              |
|--------------|---|---|--------------|
|              |   |   | 全回答者         |
| (1) 地付きの家である | — | — | 114 ( 33.4%) |
| (2) 地付きの家でない | — | — | 227 ( 66.6%) |
| 合計           |   |   | 341 (100.0%) |

33%の回答者は地付き層であり、残りの67%は来住者層である。

問20

(地付きの家の方へ) 上東地区に新しく入って来られた家で、よく行き来をされている家がありますか。

|        |              |   |   |
|--------|--------------|---|---|
|        | 地付き層         |   |   |
| (1) ある | 68 ( 59.6%)  | — | — |
| (2) ない | 46 ( 40.4%)  | — | — |
| 合計     | 114 (100.0%) |   |   |

地付き層の回答者のうち60%は、来住者と交際がある。

問21

(地付きでない家の方へ) 上東地区にある地付きの家で、よく行き来をされている家がありますか。

|        |   |              |   |
|--------|---|--------------|---|
|        |   | 来住者層         |   |
| (1) ある | — | 89 ( 39.2%)  | — |
| (2) ない | — | 138 ( 60.8%) | — |
| 合計     |   | 227 (100.0%) |   |

来住者層の回答者のうち約40%は、地付き住民と交際がある。

問22

(問20ないし問21で「よくゆききをしている家がある」と答えられた方へ) では、よく、ゆききをされるようになった主なきっかけはなんでしょうか。あてはまるものを選んで下さい。いくつ上げられても結構です。

|                           |            |            |            |
|---------------------------|------------|------------|------------|
|                           | 地付き層       | 来住者層       | 全回答者       |
| (1) 子供どうしが友達だから           | 50 (43.9%) | 49 (21.6%) | 99 (29.0%) |
| (2) 同じ団体・クラブ・サークルで一緒だったから | 16 (14.0%) | 25 (11.0%) | 41 (12.0%) |
| (3) 家が近くにあったから            | 38 (33.3%) | 30 (13.2%) | 68 (19.9%) |

「混住化農村調査」第1次報告書(1)

|                         |            |            |            |
|-------------------------|------------|------------|------------|
| (4) 気が合うから              | 33 (28.9%) | 32 (14.1%) | 65 (19.1%) |
| (5) 自らの仕事や、職場が同じだから     | 6 (5.3%)   | 10 (4.4%)  | 16 (4.7%)  |
| (6) 夫の仕事や、職場が同じだから      | 4 (3.5%)   | 8 (3.5%)   | 12 (3.5%)  |
| (7) 同県人、またはふるさとなどが同じだから | 2 (1.8%)   | 4 (1.8%)   | 6 (1.8%)   |
| (8) レジャーの農園の活動で         | 2 (1.8%)   | 2 (0.9%)   | 4 (1.2%)   |
| (9) その他                 | 12 (10.5%) | 15 (6.6%)  | 27 (7.9%)  |

新旧住民が交流を始めるきっかけとして、最も多くの回答者によって挙げられたのは「子供」であった(29%)。これに次いで、「同じ団体・クラブ・サークルで一緒だったから」、「家が近くであったから」、「気が合うから」を、10~20%の回答者はそうした契機として挙げた。

問23

旅行で家を留守にするとき、植物に水をやったり、郵便物や新聞をポストから取っておいたり、ペットに餌をやったりといったような留守の間の世話を誰かに頼みますか。もし頼む人がいれば、その人の名前を教えてください。

問24

(働いておられる方へ。パート、アルバイトでも結構です)あなたの仕事仲間や友人などと、仕事上の判断、仕事で生じた問題、仕事のやり方を、職場や職場以外の場所で話し合いますか。もしそうした人がいれば、その人の名前を教えてください。

問25

過去3カ月の間に、家具の移動、家屋や自転車などの掃除や修繕、お使いなどといった家庭内の仕事を友人や親戚の人などに頼みましたか。もしそうでしたら、その人の名前を教えてください。

問26

次の表に挙げた様々な活動を読んでください。過去3カ月以内に、いずれかのことをされましたか。

食事やお茶に自分の家に招待する  
 食事やお茶に相手の家に招待される  
 親戚や知合いの人の家に行く  
 親戚や知合いの人が来る  
 家族以外の誰かとレストラン、映画、遊園地などに出かける  
 (回答者が自ら挙げた他の活動)  
 こうした活動をしたことがない(→問27へ)

もし何れかのことをされたのであれば、その人の名前を教えてください。

問27

趣味や余暇活動を共にしている人たちと会って、そのことについて話すことはありますか。もしそうでしたら、誰と話しますか。その人の名前を教えてください。

問28

個人的な心配事があるとき、誰かと話しますか。もしそうでしたら、その人の名前を教えてください。

問29

家族や仕事などについて重要な決定をするとき、誰かに助言を仰ぐことがありますか。もしそうでしたら、その人の名前を教えてください。

**問30** もしあなたが多額のお金が必要なとき、誰かに借金を頼みますか。あるいは銀行などから借りますか。

- (1) 知合いの人に借金を頼む
- (2) 銀行などから借りる
- (3) (1)と(2)の両方
- (4) その他

((1)ないし(3)と答えた人に) その人の名前を教えてください。

**問31** 個人の秘密に属するような重要な事柄を打ち明けることができる人がいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

**問32** あなたの身の上にとっても嬉しいことがあった場合、あなたはまず誰に話して、一緒に喜んでもらいますか。その人の名前を教えてください。

**問33** まだ挙げていない人で、あなたが親しいと思っている人はいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

問23から問33に答えた回答者は330人であった。そして、これらの質問に重複を除いて2,190人の名前を挙げた。つまり、回答者は、1人当たり平均6.6人を挙げた。これを相手の性別、社会関係別、居住地別に算出した。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

[性別] (単位 人)

|    | 地付き層          | 来住者層          | 全回答者          |
|----|---------------|---------------|---------------|
| 男  | 0.900 (0.482) | 0.950 (0.491) | 0.933 (0.488) |
| 女  | 5.027 (4.438) | 6.045 (5.531) | 5.706 (5.206) |
| 合計 | 5.927 (5.300) | 6.995 (6.283) | 6.639 (5.921) |

回答者は、1人当たり「男性」を平均0.9人、「女性」を平均5.7人挙げた。このように、女性を挙げるものが圧倒的に多かった。

[社会関係別] (単位 人)

|               | 地付き層          | 来住者層          | 全回答者          |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 職場仲間          | 0.982 (0.275) | 0.659 (0.196) | 0.767 (0.221) |
| 親族            | 1.891 (1.545) | 2.050 (1.674) | 1.997 (1.632) |
| 近所の人          | 0.600 (0.321) | 1.236 (0.779) | 1.024 (0.556) |
| 友人            | 1.873 (1.260) | 2.418 (1.781) | 2.236 (1.564) |
| 団体、クラブ、サークルの人 | 0.373 (0.091) | 0.500 (0.108) | 0.458 (0.102) |
| その他の関係の人      | 0.209 (0.073) | 0.114 (0.037) | 0.145 (0.048) |
| 関係不明          | 0 (0)         | 0.018 (0.005) | 0.012 (0.003) |
| 合計            | 5.927 (5.300) | 6.995 (6.283) | 6.639 (5.921) |

回答者は、1人当たり「友人」を2.2人、「親族」を2.0人挙げた。このように、「友人」と「親族」を多く挙げた。

「混住化農村調査」第1次報告書(1)

〔親族の内訳〕(単位 人)

|        | 地付き層          | 来住者層          | 全回答者          |
|--------|---------------|---------------|---------------|
| 息子     | 0.027 (0.014) | 0.036 (0.019) | 0.033 (0.017) |
| 娘      | 0.073 (0.034) | 0.045 (0.019) | 0.055 (0.024) |
| 実父     | 0.200 (0.118) | 0.245 (0.163) | 0.230 (0.147) |
| 実母     | 0.327 (0.243) | 0.445 (0.394) | 0.406 (0.338) |
| 義父     | 0.036 (0.019) | 0.136 (0.079) | 0.103 (0.057) |
| 義母     | 0.064 (0.034) | 0.164 (0.098) | 0.130 (0.075) |
| 回答者の兄弟 | 0.136 (0.067) | 0.100 (0.039) | 0.112 (0.048) |
| 回答者の姉妹 | 0.382 (0.224) | 0.450 (0.248) | 0.427 (0.240) |
| 夫の兄弟   | 0.036 (0.019) | 0.045 (0.021) | 0.042 (0.021) |
| 夫の姉妹   | 0.127 (0.061) | 0.086 (0.039) | 0.100 (0.046) |
| その他の親族 | 0.482 (0.233) | 0.286 (0.091) | 0.352 (0.132) |
| 親族関係不明 | 0 (0)         | 0.009 (0.005) | 0.006 (0.003) |
| 合計     | 1.891 (1.545) | 2.050 (1.674) | 1.997 (1.632) |

回答者は、1人当たり平均2.0人の「親族」を挙げたが、その親族の具体的内訳を示している。回答者は1人当たり、実母を0.4人挙げ（換言すれば、40%の回答者が実母を挙げた）、実の姉妹を0.4人挙げた。

〔居住地別〕(単位 人)

|                  | 地付き層          | 来住者層          | 全回答者          |
|------------------|---------------|---------------|---------------|
| 歩いて15分以内（約1km以内） | 2.136 (1.471) | 2.527 (2.049) | 2.397 (1.929) |
| 車で1時間以内（約40km以内） | 3.073 (2.500) | 3.350 (2.654) | 3.258 (2.593) |
| それ以外の場所          | 0.718 (0.224) | 1.095 (0.353) | 0.970 (0.305) |
| 居所不明             | 0 (0)         | 0.023 (0.007) | 0.015 (0.005) |
| 合計               | 5.927 (5.300) | 6.995 (6.283) | 6.639 (5.921) |

回答者1人当たりが挙げた平均6.6人が、地理的にどのように分布しているかを示している。2.4人が「歩いて15分以内（約1km以内）」、3.3人が「車で1時間以内（約40km以内）」、1.0人がもっと遠域に住んでいる。

**問35** 私たちはいろいろな人たちと会って話をしたり、食事やお茶に家へ招いたり・招かれたりします。職場の外で、あなたないしご主人の職場仲間の人たちとどのくらい頻繁に、お会いになりますか。

|              | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 週に1回以上   | 8 ( 7.0%)    | 22 ( 9.7%)   | 30 ( 8.8%)   |
| (2) 月に2・3回   | 16 ( 14.0%)  | 36 ( 15.9%)  | 52 ( 15.2%)  |
| (3) 月に約1回    | 13 ( 11.4%)  | 20 ( 8.8%)   | 33 ( 9.7%)   |
| (4) 年に数回     | 34 ( 29.8%)  | 45 ( 19.8%)  | 79 ( 23.2%)  |
| (5) ほとんど会わない | 43 ( 37.7%)  | 104 ( 45.8%) | 147 ( 43.1%) |
| 合計           | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

職場仲間と「年に数回」会う回答者は23%、「ほとんど会わない」のは43%というように、職場仲間との交際はあまり頻繁でない。

**問36** あなたないしあなたのご主人の同居されていない親戚の人たちとどのくらい頻繁にお会いになりますか。親戚には、同居されていないご両親や、同居されていない既婚の皆さんを含めてください。

|              | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 週に1回以上   | 27 ( 23.7%)  | 43 ( 18.9%)  | 70 ( 20.5%)  |
| (2) 月に2・3回   | 26 ( 22.8%)  | 48 ( 21.1%)  | 74 ( 21.7%)  |
| (3) 月に約1回    | 24 ( 21.1%)  | 38 ( 16.7%)  | 62 ( 18.2%)  |
| (4) 年に数回     | 36 ( 31.6%)  | 73 ( 32.3%)  | 109 ( 32.0%) |
| (5) ほとんど会わない | 1 ( 0.9%)    | 25 ( 11.0%)  | 26 ( 7.6%)   |
| 合計           | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約60%の回答者は、少なくとも月に1回以上親族と会っている。

## 問37

職場仲間や親戚の人たちを除いた、歩いて5分以内に住んでいる人たちをこの質問では近所の人たちとします。近所の人たちとどのくらい頻繁にお会いになりますか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 週に1回以上     | 83 ( 72.8%)  | 163 ( 71.8%) | 246 ( 72.1%) |
| (2) 月に2・3回     | 16 ( 14.0%)  | 20 ( 8.8%)   | 36 ( 10.6%)  |
| (3) 月に約1回      | 5 ( 4.4%)    | 8 ( 3.5%)    | 13 ( 3.8%)   |
| (4) 年に数回       | 1 ( 0.9%)    | 8 ( 3.5%)    | 9 ( 2.6%)    |
| (5) ほとんど会わない   | 9 ( 7.9%)    | 27 ( 11.9%)  | 36 ( 10.6%)  |
| (6) わからない、答えなし | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

近所の人たちと「週に1回以上」会う回答者は72%というように、近隣交際は割合盛んである。

## 問38

その他の友人の人たちとどのくらい頻繁にお会いになりますか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 週に1回以上     | 19 ( 16.7%)  | 48 ( 21.1%)  | 67 ( 19.6%)  |
| (2) 月に2・3回     | 16 ( 14.0%)  | 53 ( 23.3%)  | 69 ( 20.2%)  |
| (3) 月に約1回      | 21 ( 18.4%)  | 33 ( 14.5%)  | 54 ( 15.8%)  |
| (4) 年に数回       | 35 ( 30.7%)  | 49 ( 21.6%)  | 84 ( 24.6%)  |
| (5) ほとんど会わない   | 23 ( 20.2%)  | 43 ( 18.9%)  | 66 ( 19.4%)  |
| (6) わからない、答えなし | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

およそ20%の回答者がそれぞれの選択肢に分散している。つまり、友人との交際頻度は人によってさまざまである。

## 問39

新しくこの地域にきた人たちと昔からこの地域に住んでいる地付きの人たちが、一緒に地域の様々な活動をしてゆくことをどう思いますか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 一緒に活動したい   | 74 ( 64.9%)  | 124 ( 54.6%) | 198 ( 58.1%) |
| (2) どちらでもよい    | 36 ( 31.6%)  | 94 ( 41.4%)  | 130 ( 38.1%) |
| (3) 別々に活動したい   | 3 ( 2.6%)    | 6 ( 2.6%)    | 9 ( 2.6%)    |
| (4) その他        | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (5) わからない、答えなし | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約60%の回答者は、新旧住民が一緒に活動することを肯定する。

問40

新しくこの地域にきた人たちと昔からこの地域に住んでいる地付きの人たちとの間に、お付き合いの仕方や地域生活の仕方について違いがあると思いますか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とてもそう思う    | 28 ( 24.6%)  | 44 ( 19.4%)  | 72 ( 21.1%)  |
| (2) まあそう思う     | 54 ( 47.4%)  | 108 ( 47.6%) | 162 ( 47.5%) |
| (3) あまりそう思わない  | 28 ( 24.6%)  | 61 ( 26.9%)  | 89 ( 26.1%)  |
| (4) まったくそう思わない | 3 ( 2.6%)    | 6 ( 2.6%)    | 9 ( 2.6%)    |
| (5) わからない、答えなし | 1 ( 0.9%)    | 8 ( 3.5%)    | 9 ( 2.6%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約70%の回答者は、新旧住民の間に生活様式における差異があることを認めている。

問41

もし何らかの理由でこの地域から岡山県の他の場所へ移転しなければならないとしたら、どのくらい残念に思いますか。

|                | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とても残念だ     | 43 ( 37.7%)  | 67 ( 29.5%)  | 110 ( 32.3%) |
| (2) 残念だ        | 45 ( 39.5%)  | 82 ( 36.1%)  | 127 ( 37.2%) |
| (3) あまり残念でない   | 23 ( 20.2%)  | 62 ( 27.3%)  | 85 ( 24.9%)  |
| (4) まったく残念でない  | 3 ( 2.6%)    | 13 ( 5.7%)   | 16 ( 4.7%)   |
| (5) その他        | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.9%)    | 2 ( 0.6%)    |
| (6) わからない、答えなし | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計             | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約70%の回答者は、上東地域から岡山県の他の場所へ移転することを「とても残念だ」ないし「残念だ」と思っている。

問42

この地域の人たちは、みんな仲間だという感じがしますか。

|             | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とてもする   | 21 ( 18.4%)  | 21 ( 9.3%)   | 42 ( 12.3%)  |
| (2) まあする    | 59 ( 51.8%)  | 111 ( 48.9%) | 170 ( 49.9%) |
| (3) あまりしない  | 30 ( 26.3%)  | 77 ( 33.9%)  | 107 ( 31.4%) |
| (4) まったくしない | 4 ( 3.5%)    | 18 ( 7.9%)   | 22 ( 6.5%)   |
| 合計          | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約60%の回答者は、この地域の人たちは「とても」ないし「まあ」仲間だという感じがすると考えている。

問43

上東地区や庄学区でするいろいろなこと(役員改選・年中行事・建設道路事業など)に関心がありますか。

|               | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とても関心がある  | 12 ( 10.5%)  | 14 ( 6.2%)   | 26 ( 7.6%)   |
| (2) 関心がある     | 58 ( 50.9%)  | 86 ( 37.9%)  | 144 ( 42.2%) |
| (3) あまり関心がない  | 41 ( 36.0%)  | 114 ( 50.2%) | 155 ( 45.5%) |
| (4) まったく関心がない | 3 ( 2.6%)    | 13 ( 5.7%)   | 16 ( 4.7%)   |
| 合計            | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約50%の回答者は、地域でのいろいろなことに関心がある。

**問44** 上東地区や庄学区を代表するような市会議員を出すことは大切だと思いますか。

|                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とても大切だと思う    | 38 ( 33.3%)  | 70 ( 30.8%)  | 108 ( 31.7%) |
| (2) 大切だと思う       | 64 ( 56.1%)  | 112 ( 49.3%) | 176 ( 51.6%) |
| (3) あまり大切だと思わない  | 12 ( 10.5%)  | 40 ( 17.6%)  | 52 ( 15.2%)  |
| (4) まったく大切だと思わない | 0 ( 0 %)     | 3 ( 1.3%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (5) わからない、答えなし   | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.9%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約80%の回答者は、地域を代表する市会議員を出すことは大切だと思っている。

**問45** 最近、風俗営業の建物、ボウリング場など住宅環境にふさわしくない工事が行われることがあります。このような場合、あなただったらどの程度反対運動に参加なさいますか。

|                                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 自分が運動の先頭に立つ                  | 1 ( 0.9%)    | 1 ( 0.4%)    | 2 ( 0.6%)    |
| (2) 駅前などに立ってチラシを配ったり、署名をあつめたりする。 | 4 ( 3.5%)    | 9 ( 4.0%)    | 13 ( 3.8%)   |
| (3) 会合が必要であったら出席する               | 37 ( 32.5%)  | 43 ( 18.9%)  | 80 ( 23.5%)  |
| (4) 資金カンパを求められたらそれに応ずる           | 7 ( 6.1%)    | 25 ( 11.0%)  | 32 ( 9.4%)   |
| (5) 署名を求められたらそれに応ずる              | 57 ( 50.0%)  | 140 ( 61.7%) | 197 ( 57.8%) |
| (6) 一切関係したくない                    | 8 ( 7.0%)    | 8 ( 3.5%)    | 16 ( 4.7%)   |
| (7) わからない、答えなし                   | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計                               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

もし反対運動が発生した場合、約60%の回答者は「署名」といった消極的な参加をする。次いで、約20%が会合出席という形で、そうした運動に参加する。

**問46** 市の行政に要望や不満があるとき、あなたはまずどんな方法をとりますか。

|                      | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 市役所に直接出かけるか電話をする | 20 ( 17.5%)  | 40 ( 17.6%)  | 60 ( 17.6%)  |
| (2) 市会議員に頼む          | 5 ( 4.4%)    | 12 ( 5.3%)   | 17 ( 5.0%)   |
| (3) 町内会や部落会の役員に話す    | 40 ( 35.1%)  | 68 ( 30.0%)  | 108 ( 31.7%) |
| (4) (3)以外の地元有力者に話す   | 2 ( 1.8%)    | 1 ( 0.4%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (5) 町内会の会合で相談する      | 16 ( 14.0%)  | 48 ( 21.1%)  | 64 ( 18.8%)  |
| (6) 婦人会・青年団等で相談する    | 2 ( 1.8%)    | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.6%)    |
| (7) 利害関係者で相談する       | 0 ( 0 %)     | 4 ( 1.8%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (8) その他              | 5 ( 4.4%)    | 12 ( 5.3%)   | 17 ( 5.0%)   |
| (9) 特に何もしない          | 23 ( 20.2%)  | 39 ( 17.2%)  | 62 ( 18.2%)  |
| (10) わからない、答えなし      | 1 ( 0.9%)    | 3 ( 1.3%)    | 4 ( 1.2%)    |
| 合計                   | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約半数の回答者は「町内会や部落会の役員に話す」や「町内会の会合で相談する」といったように、町内会を通して要望や不満を表明する。また、17%は「直接、市役所に連絡」する。他方、「特に何もしない」回答者が18%いる。

**問47** あなたが、自分の生活の中で、一番生きがいを感じているものは、次のうちどれでしょうか。

|                                               | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 家庭の建設にいそしんだり、子どもの成長を見守ったりすることに、一番生きがいを感じる | 65 ( 57.0%)  | 146 ( 64.3%) | 211 ( 61.9%) |
| (2) 会社で仕事をするに、一番生きがいを感じる                      | 15 ( 13.2%)  | 11 ( 4.8%)   | 26 ( 7.6%)   |
| (3) 趣味や娯楽で余暇を楽しむことに、一番生きがいを感じる                | 26 ( 22.8%)  | 37 ( 16.3%)  | 63 ( 18.5%)  |
| (4) 特別生きがいを感じるようなものはない                        | 5 ( 4.4%)    | 15 ( 6.6%)   | 20 ( 5.9%)   |
| (5) その他                                       | 3 ( 2.6%)    | 18 ( 8.0%)   | 21 ( 6.2%)   |
| 合計                                            | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

「家庭や子供」に生きがいを感じている回答者が最も多く、62%に昇る。次いで、19%の人が「余暇を楽しむこと」に生きがいを感じている。

**問48** あなたは現在のご自分の生活に、どの程度満足しておられますか。

|                 | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) とても満足している   | 20 ( 17.5%)  | 42 ( 18.5%)  | 62 ( 18.2%)  |
| (2) まあ満足している    | 88 ( 77.2%)  | 165 ( 72.7%) | 253 ( 74.2%) |
| (3) あまり満足していない  | 6 ( 5.3%)    | 16 ( 7.0%)   | 22 ( 6.5%)   |
| (4) まったく満足していない | 0 ( 0 %)     | 3 ( 1.3%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (5) わからない、答えなし  | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計              | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

「とても」ないし「まあ」自分の生活に満足している回答者は、90%以上いる。

**問49** あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。

|                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 持ち家（一戸建て）         | 113 ( 99.1%) | 187 ( 82.4%) | 300 ( 88.0%) |
| (2) 持ち家（マンションなど）      | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (3) 民間の借家（一戸建て）       | 0 ( 0 %)     | 27 ( 11.9%)  | 27 ( 7.9%)   |
| (4) 民間のアパート・マンション（賃貸） | 1 ( 0.9%)    | 8 ( 3.5%)    | 9 ( 2.6%)    |
| (5) 市・県営住宅（賃貸）        | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (6) 社宅・公務員住宅          | 0 ( 0 %)     | 3 ( 1.3%)    | 3 ( 0.9%)    |
| 合計                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約90%の回答者は、一戸建ての持ち家に住んでいる。

**問50** お宅では、今後とも現在住んでいる家（現住所）に住むつもりでしょうか。

|                         | 地付き層        | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|-------------|--------------|--------------|
| (1) 今後ともずっと住むつもりである     | 98 ( 86.0%) | 145 ( 63.9%) | 243 ( 71.3%) |
| (2) できれば転居したい           | 7 ( 6.1%)   | 27 ( 11.9%)  | 34 ( 10.0%)  |
| (3) 転居する予定である（ほぼ決定している） | 1 ( 0.9%)   | 28 ( 12.3%)  | 29 ( 8.5%)   |
| (4) わからない               | 8 ( 7.0%)   | 27 ( 11.9%)  | 35 ( 10.3%)  |

合計 114 (100.0%) 227 (100.0%) 341 (100.0%)  
 約70%の回答者は、現住所に「今後ともずっと住む」つもりである。

## 問51

あなたは、倉敷市庄学区内にずっと住みたいと思いますか。次のうち、あなたのお考えに近いものを1つ選んで下さい。

|                                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) ぜひ、いつまでもここに住んでいたい                 | 97 ( 85.1%)  | 137 ( 60.4%) | 234 ( 68.6%) |
| (2) ここに住んでいたくないが、仕方がないのでずっと住むことになるだろう | 5 ( 4.4%)    | 20 ( 8.8%)   | 25 ( 7.3%)   |
| (3) できれば他に移りたい                        | 2 ( 1.8%)    | 12 ( 5.3%)   | 14 ( 4.1%)   |
| (4) 最終的には、ふるさとに帰りたい                   | 3 ( 2.6%)    | 36 ( 15.9%)  | 39 ( 11.4%)  |
| (5) ここで暮らしたくない。よそで暮らしたいと思っている         | 1 ( 0.9%)    | 5 ( 2.2%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (6) その他                               | 6 ( 5.3%)    | 15 ( 6.6%)   | 21 ( 6.2%)   |
| (7) わからない、答えなし                        | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.9%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計                                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約70%の回答者は、倉敷市庄学区内にずっと住みたいと考えている。

## 問52

現在一緒に生活しておいでな家族員について、続柄、年齢、働いていらっしゃるかどうかを教えてください。

## [家族形態別内訳]

|                 | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 夫婦のみ            | 7 ( 6.1%)    | 26 ( 11.5%)  | 33 ( 9.7%)   |
| 夫婦＋子供           | 46 ( 40.4%)  | 184 ( 81.1%) | 230 ( 67.4%) |
| 夫婦＋(両)親＋子供      | 39 ( 34.2%)  | 12 ( 5.3%)   | 51 ( 15.0%)  |
| 夫婦＋(両)親＋子供＋他の親族 | 8 ( 7.0%)    | 0 ( 0 %)     | 8 ( 2.3%)    |
| その他の家族形態        | 14 ( 12.3%)  | 5 ( 2.2%)    | 19 ( 5.6%)   |
| 合計              | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

夫婦と子供という核家族形態の家族が全体の67%を占め、最も多い。

## [回答者の年齢分布]

|        | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| 23～30歳 | 13 ( 11.4%)  | 24 ( 10.6%)  | 37 ( 10.9%)  |
| 31～40歳 | 31 ( 27.2%)  | 74 ( 32.6%)  | 105 ( 30.8%) |
| 41～50歳 | 52 ( 45.6%)  | 97 ( 42.7%)  | 149 ( 43.7%) |
| 51～60歳 | 18 ( 15.8%)  | 32 ( 14.1%)  | 50 ( 14.7%)  |
| 合計     | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

回答者の44%は40歳代にあり、最も多い。次いで、30歳代が31%を占める。

## [回答者の平均年齢] (単位 歳)

| 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------------|--------------|--------------|
| 42.04 (8.33) | 41.15 (8.45) | 41.45 (8.41) |

回答者の平均年齢は、41.5歳である。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

「混住化農村調査」第1次報告書(1)

[夫の年齢分布]

|        | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| 23～30歳 | 4 ( 3.5%)    | 11 ( 4.8%)   | 15 ( 4.4%)   |
| 31～40歳 | 35 ( 30.7%)  | 72 ( 31.7%)  | 107 ( 31.4%) |
| 41～50歳 | 45 ( 39.5%)  | 100 ( 44.1%) | 145 ( 42.5%) |
| 51～60歳 | 26 ( 22.8%)  | 35 ( 15.4%)  | 61 ( 17.9%)  |
| 61～67歳 | 4 ( 3.5%)    | 9 ( 4.0%)    | 13 ( 3.8%)   |
| 合計     | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

回答者の夫の43%は40歳代にあり、最も多い。次いで30歳代が31%を占める。

[回答者の夫の平均年齢] (単位 歳)

| 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|--------------|--------------|--------------|
| 44.73 (8.72) | 44.19 (8.75) | 44.37 (8.73) |

回答者の夫の平均年齢は、44.4歳である。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

問53

同居しておられない、あなたないしご主人の両親のどなたかは車で1時間以内の場所(約40km以内)にお住まいですか。

|         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------|--------------|--------------|--------------|
| (1) いる  | 78 ( 68.4%)  | 146 ( 64.3%) | 224 ( 65.7%) |
| (2) いない | 36 ( 31.6%)  | 81 ( 35.7%)  | 117 ( 34.3%) |
| 合計      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

およそ3分の2の回答者には、本人ないし夫の両親が約40km以内にいる。

問54

同居しておられない、あなたないしご主人の兄弟姉妹のどなたかは車で1時間以内の場所(約40km以内)にお住まいですか。

|         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------|--------------|--------------|--------------|
| (1) いる  | 95 ( 83.3%)  | 157 ( 69.2%) | 252 ( 73.9%) |
| (2) いない | 19 ( 16.7%)  | 70 ( 30.8%)  | 89 ( 26.1%)  |
| 合計      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約70%の回答者には、本人ないし夫の兄弟姉妹が約40km以内にいる。

問55

あなたのお仕事は、大きく分けてこの表のどれにあたりますか。

|                         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 経営者(重役)             | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (2) 常時雇用されている一般従業者      | 42 ( 36.8%)  | 39 ( 17.2%)  | 81 ( 23.8%)  |
| (3) 臨時雇用パート・アルバイト       | 22 ( 19.3%)  | 53 ( 23.3%)  | 75 ( 22.0%)  |
| (4) 単独(個人・自由業)          | 5 ( 4.4%)    | 13 ( 5.7%)   | 18 ( 5.3%)   |
| (5) 自営業主(雇っている人が1～4人まで) | 2 ( 1.8%)    | 3 ( 1.3%)    | 5 ( 1.5%)    |
| (6) 家族従業員               | 6 ( 5.3%)    | 12 ( 5.3%)   | 18 ( 5.3%)   |
| (7) 無職(主婦専業)            | 36 ( 31.6%)  | 105 ( 46.3%) | 141 ( 41.3%) |
| (8) わからない、答えなし          | 1 ( 0.9%)    | 1 ( 0.4%)    | 2 ( 0.6%)    |
| 合計                      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約40%の回答者は、専業主婦である。そして、約45%は常勤ないし臨時の被雇用者である。

## 問56

(働いておられる方へ) 従業員で、あなたはどんな仕事をしておられるのですか。1つ選んでください。

|                                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 専門的・技術的職業 (医師・教員・弁護士など)           | 17 ( 14.9%)  | 25 ( 11.0%)  | 42 ( 12.3%)  |
| (2) 管理的職業 (役所や会社の課長以上)                | 1 ( 0.9%)    | 4 ( 1.8%)    | 5 ( 1.5%)    |
| (3) 事務職                               | 19 ( 16.7%)  | 27 ( 11.9%)  | 46 ( 13.5%)  |
| (4) 販売・サービス職 (小売店勤務・美容師など)            | 17 ( 14.9%)  | 25 ( 11.0%)  | 42 ( 12.3%)  |
| (5) 農林漁業                              | 0 ( 0.0%)    | 0 ( 0.0%)    | 0 ( 0.0%)    |
| (6) 運輸・通信職・保安職 (郵便局員・運転手・警察官・消防員など)   | 2 ( 1.8%)    | 1 ( 0.4%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (7) 技能工・生産工程従業者・採鉱・鉱石従業者 (工員や建設作業員など) | 21 ( 18.4%)  | 38 ( 16.7%)  | 59 ( 17.3%)  |
| (8) わからない、答えなし                        | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (9) 非該当 (無職)                          | 36 ( 31.6%)  | 105 ( 46.3%) | 141 ( 41.3%) |
| 合計                                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

10～20%の回答者が就いている仕事は、「専門的・技術的職業」、「事務職」、「販売・サービス職」、「技能工・生産工程従業者・採鉱・鉱石従業者」である。

## 問57

(働いておられる方へ) あなたは役所にお勤めですか。民間の会社にお勤めの場合、従業員 (雇われている人) は会社全体で何人ぐらいですか。

|                   | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 官公庁           | 9 ( 7.9%)    | 9 ( 4.0%)    | 18 ( 5.3%)   |
| (2) なし            | 7 ( 6.1%)    | 20 ( 8.8%)   | 27 ( 7.9%)   |
| (3) 1～4人          | 10 ( 8.8%)   | 13 ( 5.7%)   | 23 ( 6.7%)   |
| (4) 5～29人         | 15 ( 13.2%)  | 21 ( 9.3%)   | 36 ( 10.6%)  |
| (5) 30～299人       | 16 ( 14.0%)  | 23 ( 10.1%)  | 39 ( 11.4%)  |
| (6) 300～499人      | 6 ( 5.3%)    | 4 ( 1.8%)    | 10 ( 2.9%)   |
| (7) 500～999人      | 1 ( 0.9%)    | 5 ( 2.2%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (8) 1,000人以上      | 10 ( 8.8%)   | 12 ( 5.3%)   | 22 ( 6.5%)   |
| (9) わからない、答えなし    | 4 ( 3.5%)    | 15 ( 6.6%)   | 19 ( 5.6%)   |
| (10) 非該当 (働いていない) | 36 ( 31.6%)  | 105 ( 46.3%) | 141 ( 41.3%) |
| 合計                | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

回答者の就業先の企業規模は、まちまちである。

## 問58

あなたの職場はどこにありますか。

|                   | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 自宅            | 9 ( 7.9%)    | 33 ( 14.5%)  | 42 ( 12.3%)  |
| (2) 倉敷市庄学区内       | 20 ( 17.5%)  | 46 ( 20.3%)  | 66 ( 19.4%)  |
| (3) その他の場所 (岡山県内) | 48 ( 42.1%)  | 43 ( 18.9%)  | 91 ( 26.7%)  |
| (4) わからない、答えなし    | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0.0%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (5) 非該当 (働いていない)  | 36 ( 31.6%)  | 105 ( 46.3%) | 141 ( 41.3%) |
| 合計                | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

12%の回答者は、「自宅」で働いている。19%の回答者の職場は「倉敷市庄学区内」にあり、27%の職場は「岡山県内のその他の場所」にある。

[(3) その他の場所(岡山県内)の内訳]

|             | 地付き層       | 来住者層       | 全回答者       |
|-------------|------------|------------|------------|
| (1) 倉敷市     | 25 (21.9%) | 17 ( 7.5%) | 50 (14.7%) |
| (2) 岡山市     | 21 (18.4%) | 25 (11.0%) | 38 (11.1%) |
| (3) その他の市町村 | 2 ( 1.8%)  | 1 ( 0.4%)  | 3 ( 0.9%)  |
| 合計          | 48 (42.1%) | 43 (18.9%) | 91 (26.7%) |

回答者の27%の職場は倉敷市庄学区の外にあるが、その場所の内訳を示している。その大部分は、「倉敷市」か「岡山市」である。

**問59** あなたは日頃、仕事・余暇の時間を含め、どの程度、家や近所で過ごしますか。

|                         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 毎日の大部分              | 56 ( 49.1%)  | 149 ( 65.6%) | 205 ( 60.1%) |
| (2) 平日の晩や休日は大体いる        | 54 ( 47.4%)  | 63 ( 27.8%)  | 117 ( 34.3%) |
| (3) 平日は晩もほとんどいないが、休日はいる | 0 ( 0 %)     | 8 ( 3.5%)    | 8 ( 2.3%)    |
| (4) 休日の昼間もほとんどいない       | 4 ( 3.5%)    | 6 ( 2.6%)    | 10 ( 2.9%)   |
| (5) わからない、答えなし          | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| 合計                      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

60%の回答者は、「毎日の大部分」を家や近所で過ごす。

**問60** あなたが最後に卒業した学校はどこですか。

|                                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|----------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 小学校(教育年数6年以内)                | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.3%)    |
| (2) 中学校・旧制高等小学校(教育年数9年以内)        | 3 ( 2.6%)    | 15 ( 6.6%)   | 18 ( 5.3%)   |
| (3) 高等学校・旧制中学校(教育年数12年以内)        | 57 ( 50.0%)  | 118 ( 52.0%) | 175 ( 51.3%) |
| (4) 大学・短大・高专・大学院・旧制高校(教育年数13年以上) | 51 ( 44.7%)  | 90 ( 39.6%)  | 141 ( 41.3%) |
| (5) わからない、答えなし                   | 2 ( 1.8%)    | 4 ( 1.8%)    | 6 ( 1.8%)    |
| 合計                               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約半数の回答者は高校を卒業しており、約40%は大学ないし短大を卒業している。

**問61** あなたのご主人のお仕事は、大きく分けてこの表のどれにあたりますか。

|                         | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 経営者(重役)             | 4 ( 3.5%)    | 12 ( 5.3%)   | 16 ( 4.7%)   |
| (2) 常時雇用されている一般従業者      | 87 ( 76.3%)  | 177 ( 78.0%) | 264 ( 77.4%) |
| (3) 臨時雇用パート・アルバイト       | 2 ( 1.8%)    | 4 ( 1.8%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (4) 単独(個人・自由業)          | 5 ( 4.4%)    | 6 ( 2.6%)    | 11 ( 3.2%)   |
| (5) 自営業主(雇っている人が1-4人まで) | 9 ( 7.9%)    | 19 ( 8.4%)   | 28 ( 8.2%)   |
| (6) 家族従業者               | 1 ( 0.9%)    | 3 ( 1.3%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (7) 無職                  | 5 ( 4.4%)    | 3 ( 1.3%)    | 8 ( 2.3%)    |
| (8) 学生                  | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.4%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (9) わからない、答えなし          | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| 合計                      | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

77%の回答者の夫は、常勤の被雇用者である。

## 問62

(ご主人が働いておられる方へ) 従業員で、あなたのご主人はどんな仕事をしておられるのですか。1つ選んでください。

|                                       | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|---------------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 専門的・技術的職業 (医師・教員・弁護士など)           | 20 ( 17.5%)  | 56 ( 24.7%)  | 76 ( 22.3%)  |
| (2) 管理的職業 (役所や会社の課長以上)                | 15 ( 13.2%)  | 54 ( 23.8%)  | 69 ( 20.2%)  |
| (3) 事務職                               | 11 ( 9.6%)   | 27 ( 11.9%)  | 38 ( 11.1%)  |
| (4) 販売・サービス職 (小売店勤務・美容師など)            | 21 ( 18.4%)  | 29 ( 12.8%)  | 50 ( 14.7%)  |
| (5) 農林漁業                              | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0.0%)    | 1 ( 0.3%)    |
| (6) 運輸・通信職・保安職 (郵便局員・運転手・警察官・消防員など)   | 15 ( 13.2%)  | 13 ( 5.7%)   | 28 ( 8.2%)   |
| (7) 技能工・生産工程従業者・採鉱・鉱石従業者 (工員や建設作業員など) | 25 ( 21.9%)  | 42 ( 18.5%)  | 67 ( 19.6%)  |
| (8) わからない、答えなし                        | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (9) 非該当 (無職、学生)                       | 5 ( 4.4%)    | 4 ( 1.8%)    | 9 ( 2.6%)    |
| 合計                                    | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約20%の回答者の夫が就いている仕事は、「専門的・技術的職業」、「管理的職業」、「技能工・生産工程従業者・採鉱・鉱石従業者」である。

## 問63

(ご主人が働いておられる方へ) あなたのご主人は役所にお勤めですか。民間の会社にお勤めの場合、従業員 (雇われている人) は会社全体で何人ぐらいですか。

|                  | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 官公庁          | 11 ( 9.6%)   | 12 ( 5.3%)   | 23 ( 6.7%)   |
| (2) なし           | 9 ( 7.9%)    | 10 ( 4.4%)   | 19 ( 5.6%)   |
| (3) 1～4人         | 13 ( 11.4%)  | 10 ( 4.4%)   | 23 ( 6.7%)   |
| (4) 5～29人        | 13 ( 11.4%)  | 37 ( 16.3%)  | 50 ( 14.7%)  |
| (5) 30～299人      | 26 ( 22.8%)  | 43 ( 18.9%)  | 69 ( 20.2%)  |
| (6) 300～499人     | 6 ( 5.3%)    | 15 ( 6.6%)   | 21 ( 6.2%)   |
| (7) 500～999人     | 8 ( 7.0%)    | 19 ( 8.4%)   | 27 ( 7.9%)   |
| (8) 1,000人以上     | 20 ( 17.5%)  | 58 ( 25.6%)  | 78 ( 22.9%)  |
| (9) わからない、答えなし   | 3 ( 2.6%)    | 19 ( 8.4%)   | 22 ( 6.5%)   |
| (10) 非該当 (無職・学生) | 5 ( 4.4%)    | 4 ( 1.8%)    | 9 ( 2.6%)    |
| 合計               | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

回答者の夫の37%は、企業規模300人以上の大企業に勤めている。

## 問64

過去一年間のお宅の収入は、税込みで次の中のどれに近いでしょうか。他のご家族の方の収入も含めてお答え下さい。臨時収入・副収入も含めて、お答え下さい。

|               | 地付き層        | 来住者層        | 全回答者        |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| (1) 200万円未満   | 0 ( 0.0%)   | 4 ( 1.8%)   | 4 ( 1.2%)   |
| (2) 201～300万円 | 0 ( 0.0%)   | 3 ( 1.3%)   | 3 ( 0.9%)   |
| (3) 301～400万円 | 6 ( 5.3%)   | 11 ( 4.8%)  | 17 ( 5.0%)  |
| (4) 401～500万円 | 9 ( 7.9%)   | 14 ( 6.2%)  | 23 ( 6.7%)  |
| (5) 501～600万円 | 20 ( 17.5%) | 34 ( 15.0%) | 54 ( 15.8%) |
| (6) 601～700万円 | 3 ( 2.6%)   | 14 ( 6.2%)  | 17 ( 5.0%)  |
| (7) 701～800万円 | 11 ( 9.6%)  | 18 ( 7.9%)  | 29 ( 8.5%)  |

「混住化農村調査」第1次報告書(1)

|                    |              |              |              |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|
| (8) 801～900万円      | 8 ( 7.0%)    | 14 ( 6.2%)   | 22 ( 6.5%)   |
| (9) 901～1,000万円    | 10 ( 8.8%)   | 13 ( 5.7%)   | 23 ( 6.7%)   |
| (10) 1,001～1,100万円 | 2 ( 1.8%)    | 8 ( 3.5%)    | 10 ( 2.9%)   |
| (11) 1,101～1,200万円 | 5 ( 4.4%)    | 12 ( 5.3%)   | 17 ( 5.0%)   |
| (12) 1,201～1,300万円 | 2 ( 1.8%)    | 6 ( 2.6%)    | 8 ( 2.3%)    |
| (13) 1,301～1,400万円 | 0 ( 0 %)     | 4 ( 1.8%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (14) 1,401～1,500万円 | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (15) 1,501万円以上     | 3 ( 2.6%)    | 4 ( 1.8%)    | 7 ( 2.1%)    |
| (16) 答えなし、わからない    | 34 ( 29.8%)  | 66 ( 29.1%)  | 100 ( 29.3%) |
| 合計                 | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

約30%の回答者は、この質問に答えていない。16%の回答者の家族収入は、501～600万円であり、最も多くがこれに該当した。

**問65** あなたのご家族のどなたかは、現在、農業をされていますか。

|           | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|-----------|--------------|--------------|--------------|
| (1) している  | 45 ( 39.5%)  | 12 ( 5.3%)   | 57 ( 16.7%)  |
| (2) していない | 69 ( 60.5%)  | 215 ( 94.7%) | 284 ( 83.3%) |
| 合計        | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

17%の回答者の家族では、農業がなされている。

**問66** (ご家族のどなたかが農業をされている方へ) 現在、お宅では、田を何反経営されていますか。

|                        | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 田を経営している           | 43 ( 37.7%)  | 5 ( 2.2%)    | 48 ( 14.1%)  |
| (2) 田を経営していない          | 1 ( 0.9%)    | 2 ( 0.9%)    | 3 ( 0.9%)    |
| (3) わからない、答えなし         | 1 ( 0.9%)    | 5 ( 2.2%)    | 6 ( 1.8%)    |
| (4) 非該当(家族の誰も農業をしていない) | 69 ( 60.5%)  | 215 ( 94.7%) | 284 ( 83.3%) |
| 合計                     | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

14%の回答者が、田を経営している。

[田の平均経営面積](単位 反)

| 地付き層        | 来住者層        | 全回答者        |
|-------------|-------------|-------------|
| 5.43 (0.57) | 2.50 (1.19) | 5.17 (0.55) |

田を経営している回答者の平均経営面積である。1人の地付き層と1人の来住者層が田の経営面積がわからないと答えたので、46人の平均面積である。田の平均経営面積は、5.2反である。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

**問67** (ご家族のどなたかが農業をされている方へ) 現在、お宅では、畑を何反経営されていますか。

|                        | 地付き層        | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------------|-------------|--------------|--------------|
| (1) 畑を経営している           | 20 ( 17.5%) | 6 ( 2.6%)    | 26 ( 7.6%)   |
| (2) 畑を経営していない          | 24 ( 21.1%) | 2 ( 0.9%)    | 26 ( 7.6%)   |
| (3) わからない、答えなし         | 1 ( 0.9%)   | 4 ( 1.8%)    | 5 ( 1.5%)    |
| (4) 非該当(家族の誰も農業をしていない) | 69 ( 60.5%) | 215 ( 94.7%) | 284 ( 83.3%) |

合計 114 (100.0%) 227 (100.0%) 341 (100.0%)  
 8%の回答者が、畑を経営している。

[畑の平均経営面積] (単位 反)

| 地付き層        | 来住者層        | 全回答者        |
|-------------|-------------|-------------|
| 0.95 (0.14) | 0.60 (0.60) | 0.88 (0.16) |

畑を経営している回答者の平均経営面積である。1人の地付き層と1人の来住者層が畑の経営面積がわからないと答えたので、24人の平均面積である。畑の平均経営面積は、0.9反である。なお、括弧内の数字は標準偏差である。

**問68**

(ご家族のどなたかが農業をされている方へ) お宅では、将来、農業をどのようにしたいというお考えですか。

|                              | 地付き層         | 来住者層         | 全回答者         |
|------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 耕地面積を広げていきたい             | 0 ( 0 %)     | 0 ( 0 %)     | 0 ( 0 %)     |
| (2) 作物や畜産などの組合せをはかっていきたい     | 2 ( 1.8%)    | 0 ( 0 %)     | 2 ( 0.6%)    |
| (3) 自分の田畑を請け負い耕作に出す          | 6 ( 5.3%)    | 1 ( 0.4%)    | 7 ( 2.1%)    |
| (4) 農業以外の仕事をするため、できるだけ省力化したい | 10 ( 8.8%)   | 2 ( 0.9%)    | 12 ( 3.5%)   |
| (5) 特に変えたいとは思わない             | 23 ( 20.2%)  | 8 ( 3.5%)    | 31 ( 9.1%)   |
| (6) その他                      | 3 ( 2.6%)    | 1 ( 0.4%)    | 4 ( 1.2%)    |
| (7) わからない、答えなし               | 1 ( 0.9%)    | 0 ( 0 %)     | 1 ( 0.3%)    |
| (8) 非該当 (家族の誰も農業をしていない)      | 69 ( 60.5%)  | 215 ( 94.7%) | 284 ( 83.3%) |
| 合計                           | 114 (100.0%) | 227 (100.0%) | 341 (100.0%) |

家族の誰かが農業をしている回答者のほとんどは、農業の経営を将来も「特に変えたいとは思っていない」。

(以下次号)

(平成3年11月15日受理)